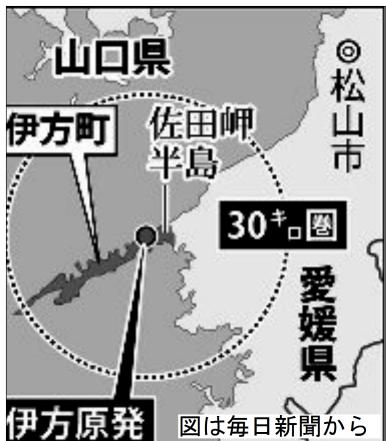


人命軽視は許されない！ 伊方原発再稼働反対

■ 避難できない伊方原発



8月12日、愛媛県松山市にある伊方原発3号機が反対の声も聞かず5年3か月ぶりに再稼働しました。伊方原発の沖合5キロには中央構造線が走り、4月に起きた熊本地震に誘発されて、伊方付近の断層が動く可能性もあるのです。

伊方原発は佐多岬半島の付け根にあり、住民の不安はぬぐえません。原発が事故を起こした場合、原発から西に住むおよそ5000人の人々は逃げることができません。事故を起こし大量

の放射性物質や放射線が漏れている原発の前を通って逃げることはできません。西へ逃げれば海しかありません。政府はフェリーを使って大分県に逃げる計画も立てていますが、そんなことは不可能です。

避難経路は片側1車線の道路が多く、かけ崩れも修復されないままのところがあるからです。何より避難訓練の時にはバスが迎えにきて港まで行き、フェリーで大分に渡りましたが、実際に放射能漏れを起こしているところに救出に来てくれるバスもフェリーもないでしょう。

避難できない場所に原発を作るなど人として許されない行為です。



2016年8月19日

STOP原子力★闇電包団行動

ブログ：<http://stop-kanden.seesaa.net/>

連絡先：東大阪市源氏が丘16-10 源氏が丘教会気付

■ プルサーマル発電は制御が難しくて危険

今回の伊方3号機、今仮処分によって停止中の高浜3・4号機がプルサーマル発電です。プルサーマル発電とは、ウラン燃料用に作られた原子炉でウラン・プルトニウム混合酸化物燃料（＝MOX燃料）を使って発電することです。これによって危険度がより増します。

今の原発は、装荷できるMOX燃料集合体数が制限され（1/3まで、伊方は1/4まで）、燃焼管理が複雑になります。

制御棒は中性子を吸収することによって反応を抑えます。ウラン燃料のみなら熱中性子の分布は滑らかですが、MOX燃料ではプルトニウム集合体が熱中性子を吸収するので、コントロールできる中性子の量が減ります。だから、制御が難しくなります。

燃料そのものも絶対きれいには混ざらず、所々にプルトニウムの固まり、プルトニウムスポットができます。その結果、ガス状の核分裂生成物（＝死の灰）の放出率が大きくなります。

MOX燃料とウラン燃料の放射性を比較すると、新燃料で中性子が約1万倍、 γ 線で約20倍で、トラックで運び、積み下ろし、納める間の作業者の被曝がずっと多くなります。

プルトニウムは「吸い込むと1 gで約50万人を肺ガンにできる」猛毒物質で、核兵器の材料です。半減期は2万4000年。1000分の一になるまで24万年です。（小林圭二・元京都大学原子炉実験所講師の講演 ネットから参照）

■ 高浜もプルサーマル発電

前述したように高浜もプルサーマル発電で、しかも4号機は初めてMOX燃料を使用します。あまりに危険なので大津地裁・山本善彦裁判長も緊急性を認め2016年3月9日に高浜原発3・4号機について運転差し止め決定を出しました。関電は異議審を申し立てましたが、それも棄却されました。関電は大阪高裁で逆転を狙っていますが、それを許さない行動を強めていきましょう。

■原発は不安定な電源に

原発を基幹電源にと原発政策を推し進めてきた国と経済界は、相次ぐ差し止め訴訟に危機感を強めています。稼働しても、いつ止められるかわからないからです。そしてついにとんでもないことを言い出しました。

3月17日の関経連記者会見での各氏の発言。（役職名は当時）

▼角副会長一憤りを超えて怒りを覚えます。なぜ一地裁の裁判官によって、（原発を活用する）国のエネルギー政策に支障をきたすことが起こるのか。こういうことができないよう、速やかな法改正をのぞむ。

▼森会長（関電会長）一値下げができなくなったことが関西経済に与える影響は小さくないと考えており、一日も早く不当な決定を取り消していただかなければならない。

▼沖原隆宗副会長（三菱東京UFJ銀行特別顧問）一理解できない

▼佐藤広士副会長（神戸製鋼所会長）一（大津地裁のように）裁判がいろんなところで次々に起り、電気の安定供給に不安が出てくるのではないかと懸念している。

■原発差し止め仮処分申請「できないように」

原発の運転差し止めを求める仮処分の申し立てが全国の裁判所で相次いでいることについて、関西電力前会長の森詳介・関西経済連合会会長は7月13日、「司法リスクを限りなく小さくする必要がある」と述べ、申し立てができないように法改正などを政府に求めていく考えを示しました。「仮処分は民事で扱わず、特定の裁判所でやるなどの方法もある」と発言。国のエネルギー政策とかかわる原発の運転をめぐる問題は仮処分申請を認めず、知的財産権を専門に扱う知財高裁のような特定の裁判所で扱うべきだとしました。

関西経済連合にとっては私たちの人権は無視してもかまわないちっぽけなもののです。

しかし、私たちの命は私たちのもの。私たちには安全に生きる権利があり、子や孫の命も守らなければなりません。関西経済連合会の横暴とたたかっていきましょう。

■再稼働反対！伊方原発前に反対する人々が結集



伊方原発
200m手前は
厳戒態勢

再稼働
やめろー



福島瑞穂議員と
菅直人元総理も
駆けつけた